

日本学術会議課題別委員会
自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会
国際プログラム連携分科会（第3回）議事要旨

日 時：平成22年8月6日 12:10~12:55

場 所：日本学術会議 6-B 会議室

出席者：林副委員長、佐竹委員、佐々委員、春山委員、是澤委員

1. 前回議事要旨（案）を確認し、承認することとした。
2. 主な発言事項は次の通り。
 - Forensic Investigation の枠組みと JICA や河川局の発表内容は矛盾しない。整合性のある作業をしていかなければならない。
 - JICA 等の多様な機関が実践している国際協力に対して学術会議が理論面で協力していくことが適当。
 - 日本の国際協力はバイの活動に集中しており、多国間マルチの枠組みに入ってイニシアティブを発揮できるシステムが不在。
 - 政策分野と研究分野の連携が不足。
 - 金を出す口は出さないことが多い。国際プログラムの中に入って発言していくことが重要。
 - 日本人はものごとをコンシスタントにしようとしすぎていて、逆にあまり実力を発揮できていない側面がある。国際会議の場では、対処方針に縛られていて、あまり自由な発言ができていない。
3. これまでの議論を基にしつつ、竹内委員長のお考えを伺いつつ、分科会報告の骨子を準備し、次回の分科会で議論を詰めていくこととした。

（以上）